

2013年7月1日発行

発行 羽曳野市 市長公室 秘書課
〒583-8585 羽曳野市菅田4-1-1
072-958-1111 (代表)URL <http://www.city.habikino.lg.jp/>
E-mail mailbox@city.habikino.lg.jp

カメラ付き携帯電話のバーコードリーダーで左のQRコードを読み取ってください。「モバイルシティはびきの」をご覧くださいませ。(QRコードは樹デンソーウェブの登録商標です。)

今月の表紙

道の駅しらとりの郷・羽曳野の北東に位置する、健康ふれあいの郷グラウンド・ゴルフ場の一部を夏季限定(7/20~8/25)で、子どもたちがお手軽に水遊びができる空間「キッズパーク」に。(着替えを忘れずに!) 関連記事を5ページ下段に掲載。

もくじ

- 2 市長挨拶
- 3 親子ふれあいデイキャンプほか
- 4 収穫祭(軽トラ市)
- 5 熱中症注意!・市民プール・キッズパーク
- 6 第23回参議院議員通常選挙
- 10 はびきの中学生study-O・中学生英会話講座
- 11 図書館だより・サラダホール
- 12 きらきらシニア
- 13 国民年金・かかりつけ健康メール・東洋医療
- 14 子育て支援センター
- 15 幼稚園・保育園の子育て
- 16 健康ファミリー
- 18 街かどから
- 20 市民大学
- 21 LICはびきの
- 22 青少年児童センター
- 23 制度・お知らせ・スポーツ
- 37 相談窓口
- 38 市民のページ・風流韻事
- 39 社協・警察
- 40 はびきの七夕祭



羽曳野市

市章は“羽”の文字を抽象的に図案化し、シンプルに表現したもの。鳥のはばたきのような市の雄飛と発展性を示しています。

面積…26.44km²

人口…116,447人(前月比-66)

男… 55,604人

女… 60,843人

世帯… 48,961

(平成25年5月31日現在)

医食同源

羽曳野の特産品であり、私の趣味のひとつでもある「赤ワイン」。昨今の赤ワインブームのきっかけは、フランス人が先進諸国の中でも脂肪消費量が多いにもかかわらず、動脈硬化による心疾患



大阪ワイナリー協会 発足会



先月16日に府内6社のワイナリーが集まり、「大阪ワイナリー協会」が発足。P19 関連記事

での死亡率がむしろ

低い背景に、赤ワインの消費量がずば抜けて高いことを指摘した論文が世に広まったことによると言われています。今や赤ワインの健康効果は「ポリフェノール」による抗酸化作用だとも知られています。



同協会の発足と同時に第1回目となるワイン会を開催(天王寺都ホテル)

今日食べた物が、「明日の自分」になる。そう考えると、「医食同源」という言葉がより深く理解でき、普段何気なく食べている毎日の食事に、より関心が持てるのではないのでしょうか。自ら食べることに興味をもち、ないがしろにしないことが、楽しく健康を維持し、それが健康を楽しむことにつながるのではと思っています。

そして将来、ぶどうの産地である羽曳野が、健康と長寿のまちとして知られるようになるかもしれません。

日々、新たに生まれ変わる喜びを感じながら。

羽曳野市長 北川 嗣雄